

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2015年1月26日～2020年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	α50コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）」Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（α50クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α100コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）」Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（α100クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	α50コース	①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の50％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により50％から大きくかい離する場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	α100コース	①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の100％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により100％から大きくかい離する場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ・ブラジル・リアル債α
（毎月分配型）
－スーパー・ハインカム－
α50コース／α100コース

運用報告書（全体版）

第12期（決算日	2016年2月17日）
第13期（決算日	2016年3月17日）
第14期（決算日	2016年4月18日）
第15期（決算日	2016年5月17日）
第16期（決算日	2016年6月17日）
第17期（決算日	2016年7月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－α50コース／α100コース」は、このたび、第17期の決算を行ないました。

ここに、第12期～第17期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3254>

<3255>

★α50コース

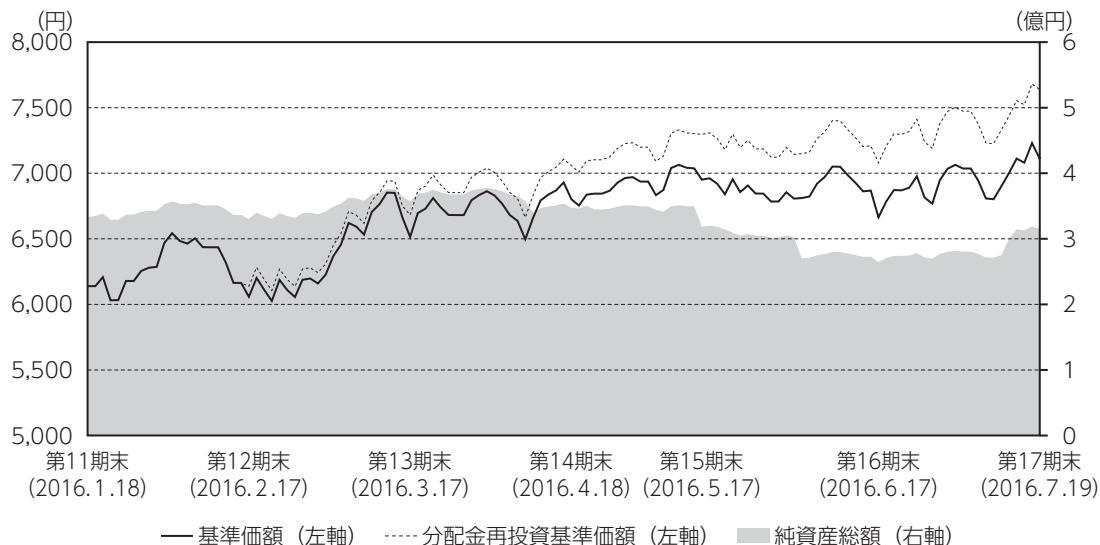
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J P モ ル ガ ン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 3 月17日)	8,308	120	△15.7	8,014	△19.9	0.0	98.0	287
2 期末 (2015年 4 月17日)	8,640	120	5.4	8,716	8.8	1.2	99.5	290
3 期末 (2015年 5 月18日)	8,727	120	2.4	8,898	2.1	1.0	95.8	326
4 期末 (2015年 6 月17日)	8,649	120	0.5	8,907	0.1	0.0	99.3	317
5 期末 (2015年 7 月17日)	8,587	120	0.7	8,924	0.2	0.0	98.4	320
6 期末 (2015年 8 月17日)	7,746	120	△ 8.4	8,028	△10.0	0.0	99.8	291
7 期末 (2015年 9 月17日)	6,752	120	△11.3	6,879	△14.3	0.0	99.1	307
8 期末 (2015年10月19日)	6,658	120	0.4	6,613	△ 3.9	0.0	99.4	344
9 期末 (2015年11月17日)	6,843	120	4.6	7,137	7.9	0.0	98.9	357
10期末 (2015年12月17日)	6,495	80	△ 3.9	6,946	△ 2.7	0.0	99.5	351
11期末 (2016年 1 月18日)	6,139	80	△ 4.2	6,448	△ 7.2	0.0	99.7	333
12期末 (2016年 2 月17日)	6,058	80	△ 0.0	6,473	0.4	0.0	99.7	330
13期末 (2016年 3 月17日)	6,515	80	8.9	7,262	12.2	0.0	99.7	357
14期末 (2016年 4 月18日)	6,802	80	5.6	7,718	6.3	0.0	99.7	347
15期末 (2016年 5 月17日)	6,951	80	3.4	8,057	4.4	0.0	99.6	318
16期末 (2016年 6 月17日)	6,664	80	△ 3.0	7,841	△ 2.7	0.0	99.5	264
17期末 (2016年 7 月19日)	7,110	80	7.9	8,706	11.0	0.0	99.3	314

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第12期首：6,139円

第17期末：7,110円（既払分配金480円）

騰 落 率：24.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことや為替相場が上昇したことが要因となり、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブラジル (円換 算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第12期	(期首) 2016年1月18日	円 6,139	% -	6,448	% -	% 0.0	% 99.7
	1月末	6,286	2.4	6,764	4.9	0.0	99.7
	(期末) 2016年2月17日	6,138	△0.0	6,473	0.4	0.0	99.7
第13期	(期首) 2016年2月17日	6,058	-	6,473	-	0.0	99.7
	2月末	6,197	2.3	6,604	2.0	0.0	99.7
	(期末) 2016年3月17日	6,595	8.9	7,262	12.2	0.0	99.7
第14期	(期首) 2016年3月17日	6,515	-	7,262	-	0.0	99.7
	3月末	6,834	4.9	7,717	6.3	0.0	99.8
	(期末) 2016年4月18日	6,882	5.6	7,718	6.3	0.0	99.7
第15期	(期首) 2016年4月18日	6,802	-	7,718	-	0.0	99.7
	4月末	6,970	2.5	7,972	3.3	0.0	99.8
	(期末) 2016年5月17日	7,031	3.4	8,057	4.4	0.0	99.6
第16期	(期首) 2016年5月17日	6,951	-	8,057	-	0.0	99.6
	5月末	6,785	△2.4	7,997	△ 0.7	0.0	99.5
	(期末) 2016年6月17日	6,744	△3.0	7,841	△ 2.7	0.0	99.5
第17期	(期首) 2016年6月17日	6,664	-	7,841	-	0.0	99.5
	6月末	7,034	5.6	8,423	7.4	0.0	99.5
	(期末) 2016年7月19日	7,190	7.9	8,706	11.0	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期間の前半は、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢が、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換するとの市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。後半は、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新への期待から金利低下が進みました。5月上旬には、上院で弾劾手続きの審議開始をめぐる採決が行なわれた結果、ルセフ大統領は停職となり、テメル副大統領が暫定的に大統領となりました。主要閣僚が汚職関連で辞任するなど混乱する局面も見られましたが、テメル暫定政権の財政健全化路線に期待が集まる中で金利は安定して推移しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

第12期首より、中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落、また原油価格の下落によりリスク回避姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。しかし2016年3月になると、原油価格が底打ちし株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、汚職捜査が政権中枢へ近づくに連れて政権交代期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがレアルの上昇要因になりました。また暫定政権発足後は、政局の混乱からの脱却と経済改革に期待が集まったことがレアルの上昇要因となったほか、英国のEU（欧州連合）離脱の国民投票や米国の雇用統計等の結果を受けて、世界経済の下支えのため各国の金融緩和姿勢が印象づけられたことが新興国・資源国通貨の上昇要因となりました。

○為替ボラティリティ相場

当期間中は、2016年1月から2月にかけての中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落した局面や、4月の日銀の金融政策の効果に対して懐疑的な見方が高まった局面、また6月の英国のEU離脱の国民投票による局面など、リスク回避姿勢が強まった時にインプライド・ボラティリティ（※）が上昇する局面が見られました。しかし当期間を通じて、政権交代期待および暫定政権に対する期待や、各国政府・中央銀行の政策対応への期待などから、20%台で安定して推移しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レート（ボラティリティ（予想変動率））で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 50クラス）

債券ポートフォリオは、名目債と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

通貨カバードコール戦略（ブラジル・リアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

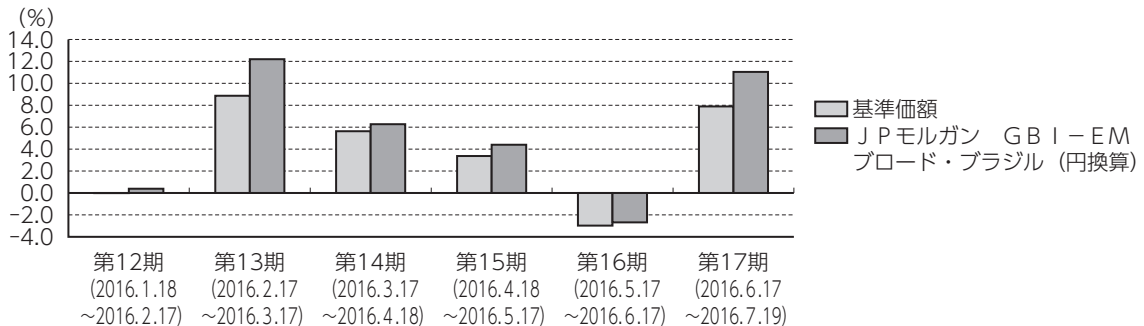
○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第12期～第17期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
		2016年1月19日 ～2016年2月17日	2016年2月18日 ～2016年3月17日	2016年3月18日 ～2016年4月18日	2016年4月19日 ～2016年5月17日	2016年5月18日 ～2016年6月17日	2016年6月18日 ～2016年7月19日
当期分配金（税込み）	(円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率	(%)	1.30	1.21	1.16	1.14	1.19	1.11
当期の収益	(円)	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外	(円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,097	1,253	1,435	1,622	1,767	1,966

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	225.34円	235.53円	262.50円	267.08円	224.45円	250.93円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	263.47	267.44	271.44	275.26	280.19	466.16
(d) 分配準備積立金	689.00	830.40	981.94	1,160.64	1,342.80	1,329.72
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,177.83	1,333.38	1,515.89	1,702.98	1,847.45	2,046.82
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,097.83	1,253.38	1,435.89	1,622.98	1,767.45	1,966.82

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第12期～第17期		項 目 の 概 要
	(2016.1.19～2016.7.19)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0.607%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,701円です。
(投信会社)	(14)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(25)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0.076	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(5)	(0.076)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	46	0.688	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注3）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注4）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

決 算 期	第 12 期 ～ 第 17 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	2,068.023	107,337	2,404.926	126,396

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

第 12 期 ～				第 17 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	628.99	32,600	51	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	2,404.926	126,396	52

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第12期～第17期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第12期～第17期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

決 算 期	第 12 期			第 17 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
公社債	百万円 18,410	百万円 3,140	% 17.1	百万円 －	百万円 －	% －
コール・ローン	550,510	－	－	－	－	－

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビ－ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	第 17 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	5,985.997	312,708	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月19日現在

項 目	第 17 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 312,708	% 97.8
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	50	0.0
コール・ローン等、その他	6,917	2.2
投資信託財産総額	319,676	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 17 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千□ 49	千□ 49	千円 50

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年2月17日)、(2016年3月17日)、(2016年4月18日)、(2016年5月17日)、(2016年6月17日)、(2016年7月19日)現在

項 目	第 12 期 末	第 13 期 末	第 14 期 末	第 15 期 末	第 16 期 末	第 17 期 末
(A) 資産	339,780,877円	361,815,262円	355,671,594円	376,886,659円	268,136,845円	319,676,371円
コール・ローン等	1,188,396	5,748,254	1,721,029	5,242,781	4,858,131	6,917,838
投資信託受益証券(評価額)	329,460,667	356,016,998	346,515,356	317,103,073	263,228,709	312,708,533
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	50,015	50,010	50,010	50,005	50,005	50,000
未収入金	9,081,799	－	7,385,199	54,490,800	－	－
(B) 負債	9,259,659	4,727,854	8,174,910	58,415,943	3,491,275	4,782,439
未払金	4,540,900	－	3,692,600	27,245,400	－	－
未払収益分配金	4,364,498	4,384,853	4,086,733	3,665,176	3,176,991	3,542,861
未払解約金	10,037	2,031	－	27,159,690	－	924,530
未払信託報酬	341,962	336,472	388,507	336,361	302,984	301,753
その他未払費用	2,262	4,498	7,070	9,316	11,300	13,295
(C) 純資産総額(A－B)	330,521,218	357,087,408	347,496,684	318,470,716	264,645,570	314,893,932
元本	545,562,299	548,106,729	510,841,730	458,147,022	397,123,984	442,857,747
次期繰越損益金	△215,041,081	△191,019,321	△163,345,046	△139,676,306	△132,478,414	△127,963,815
(D) 受益権総口数	545,562,299□	548,106,729□	510,841,730□	458,147,022□	397,123,984□	442,857,747□
1万口当り基準価額(C/D)	6,058円	6,515円	6,802円	6,951円	6,664円	7,110円

* 第11期末における元本額は542,850,952円、当作成期間（第12期～第17期）中における追加設定元本額は57,944,071円、同解約元本額は157,937,276円です。

* 第17期末の計算口数当りの純資産額は7,110円です。

* 第17期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は127,963,815円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

■損益の状況

第12期 自2016年1月19日 至2016年2月17日 第15期 自2016年4月19日 至2016年5月17日
 第13期 自2016年2月18日 至2016年3月17日 第16期 自2016年5月18日 至2016年6月17日
 第14期 自2016年3月18日 至2016年4月18日 第17期 自2016年6月18日 至2016年7月19日

項 目	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期
(A) 配当等収益	12,638,433円	13,058,464円	13,688,979円	12,574,893円	9,218,728円	11,265,969円
受取配当金	12,638,392	13,058,463	13,688,979	12,574,958	9,218,901	11,266,128
受取利息	41	1	－	－	12	－
支払利息	－	－	－	△ 65	△ 185	△ 159
(B) 有価証券売買損益	△ 12,329,676	16,687,652	5,475,407	△ 1,752,195	△ 17,142,763	11,064,448
売買益	75	16,688,213	6,528,426	281,635	734,185	11,081,002
売買損	△ 12,329,751	△ 561	△ 1,053,019	△ 2,033,830	△ 17,876,948	△ 16,554
(C) 信託報酬等	△ 344,224	△ 338,708	△ 391,079	△ 338,607	△ 304,990	△ 303,748
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 35,467	29,407,408	18,773,307	10,484,091	△ 8,229,025	22,026,669
(E) 前期繰越損益金	△ 111,539,505	△ 115,927,981	△ 84,382,210	△ 62,301,829	△ 47,917,242	△ 59,147,709
(F) 追加信託差損益金	△ 99,101,611	△ 100,113,895	△ 93,649,410	△ 84,193,392	△ 73,155,156	△ 87,299,914
(配当等相当額)	(14,374,265)	(14,658,855)	(13,866,344)	(12,611,038)	(11,127,113)	(20,644,580)
(売買損益相当額)	(△113,475,876)	(△114,772,750)	(△107,515,754)	(△ 96,804,430)	(△ 84,282,269)	(△107,944,494)
(G) 合計(D+E+F)	△ 210,676,583	△ 186,634,468	△ 159,258,313	△ 136,011,130	△ 129,301,423	△ 124,420,954
(H) 収益分配金	△ 4,364,498	△ 4,384,853	△ 4,086,733	△ 3,665,176	△ 3,176,991	△ 3,542,861
次期繰越損益金(G+H)	△ 215,041,081	△ 191,019,321	△ 163,345,046	△ 139,676,306	△ 132,478,414	△ 127,963,815
追加信託差損益金	△ 99,101,611	△ 100,113,895	△ 93,649,410	△ 84,193,392	△ 73,155,156	△ 87,299,914
(配当等相当額)	(14,374,265)	(14,658,855)	(13,866,344)	(12,611,038)	(11,127,113)	(20,644,580)
(売買損益相当額)	(△113,475,876)	(△114,772,750)	(△107,515,754)	(△ 96,804,430)	(△ 84,282,269)	(△107,944,494)
分配準備積立金	45,519,483	54,039,887	59,484,976	61,745,498	59,062,605	66,457,694
繰越損益金	△ 161,458,953	△ 144,945,313	△ 129,180,612	△ 117,228,412	△ 118,385,863	△ 107,121,595

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,294,209円	12,909,771円	13,409,631円	12,236,286円	8,913,738円	11,112,728円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	14,374,265	14,658,855	13,866,344	12,611,038	11,127,113	20,644,580
(d) 分配準備積立金	37,589,772	45,514,969	50,162,078	53,174,388	53,325,858	58,887,827
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	64,258,246	73,083,595	77,438,053	78,021,712	73,366,709	90,645,135
(f) 分配金	4,364,498	4,384,853	4,086,733	3,665,176	3,176,991	3,542,861
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	59,893,748	68,698,742	73,351,320	74,356,536	70,189,718	87,102,274
(h) 受益権総口数	545,562,299口	548,106,729口	510,841,730口	458,147,022口	397,123,984口	442,857,747口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(6,058円)	(6,515円)	(6,802円)	(6,951円)	(6,664円)	(7,110円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★α100コース

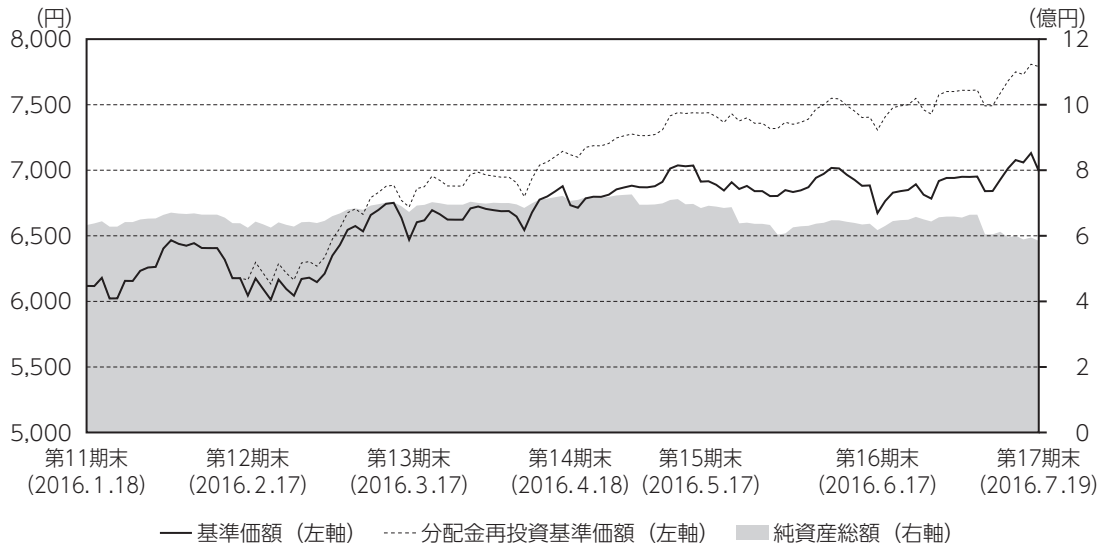
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J P モ ル ガ ン GBI-EM ブロード・ ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 3 月17日)	8,486	180	△13.3	8,014	△19.9	0.0	97.9	503
2 期末 (2015年 4 月17日)	8,764	180	5.4	8,716	8.8	1.6	95.2	564
3 期末 (2015年 5 月18日)	8,802	180	2.5	8,898	2.1	1.4	99.8	685
4 期末 (2015年 6 月17日)	8,748	180	1.4	8,907	0.1	0.0	98.8	760
5 期末 (2015年 7 月17日)	8,652	180	1.0	8,924	0.2	0.0	98.1	830
6 期末 (2015年 8 月17日)	7,829	180	△ 7.4	8,028	△10.0	0.0	99.7	781
7 期末 (2015年 9 月17日)	6,811	180	△10.7	6,879	△14.3	0.0	98.2	705
8 期末 (2015年10月19日)	6,712	180	1.2	6,613	△ 3.9	0.0	99.5	651
9 期末 (2015年11月17日)	6,800	180	4.0	7,137	7.9	0.0	97.8	679
10期末 (2015年12月17日)	6,450	120	△ 3.4	6,946	△ 2.7	0.0	99.9	662
11期末 (2016年 1 月18日)	6,118	120	△ 3.3	6,448	△ 7.2	0.0	99.5	632
12期末 (2016年 2 月17日)	6,044	120	0.8	6,473	0.4	0.0	99.5	624
13期末 (2016年 3 月17日)	6,469	120	9.0	7,262	12.2	0.0	99.5	672
14期末 (2016年 4 月18日)	6,733	120	5.9	7,718	6.3	0.0	99.6	706
15期末 (2016年 5 月17日)	6,913	120	4.5	8,057	4.4	0.0	99.5	684
16期末 (2016年 6 月17日)	6,673	120	△ 1.7	7,841	△ 2.7	0.0	99.4	617
17期末 (2016年 7 月19日)	6,995	120	6.6	8,706	11.0	0.0	98.1	584

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロード・ブラジル (円換算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第12期首：6,118円

第17期末：6,995円（既払分配金720円）

騰 落 率：27.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことや為替相場が上昇したことが要因となり、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M ブ ロ ー ド ・ ブラジル (円換 算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第12期	(期首) 2016年 1月18日	円 6,118	% -	6,448	% -	% 0.0	% 99.5
	1月末	6,263	2.4	6,764	4.9	0.0	99.0
	(期末) 2016年 2月17日	6,164	0.8	6,473	0.4	0.0	99.5
第13期	(期首) 2016年 2月17日	6,044	-	6,473	-	0.0	99.5
	2月末	6,181	2.3	6,604	2.0	0.0	99.6
	(期末) 2016年 3月17日	6,589	9.0	7,262	12.2	0.0	99.5
第14期	(期首) 2016年 3月17日	6,469	-	7,262	-	0.0	99.5
	3月末	6,724	3.9	7,717	6.3	0.0	99.6
	(期末) 2016年 4月18日	6,853	5.9	7,718	6.3	0.0	99.6
第15期	(期首) 2016年 4月18日	6,733	-	7,718	-	0.0	99.6
	4月末	6,882	2.2	7,972	3.3	0.0	95.5
	(期末) 2016年 5月17日	7,033	4.5	8,057	4.4	0.0	99.5
第16期	(期首) 2016年 5月17日	6,913	-	8,057	-	0.0	99.5
	5月末	6,804	△1.6	7,997	△ 0.7	0.0	99.6
	(期末) 2016年 6月17日	6,793	△1.7	7,841	△ 2.7	0.0	99.4
第17期	(期首) 2016年 6月17日	6,673	-	7,841	-	0.0	99.4
	6月末	6,941	4.0	8,423	7.4	0.0	99.6
	(期末) 2016年 7月19日	7,115	6.6	8,706	11.0	0.0	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期間の前半は、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢が、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換するとの市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。後半は、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新への期待から金利低下が進みました。5月上旬には、上院で弾劾手続きの審議開始をめぐる採決が行なわれた結果、ルセフ大統領は停職となり、テメル副大統領が暫定的に大統領となりました。主要閣僚が汚職関連で辞任するなど混乱する局面も見られましたが、テメル暫定政権の財政健全化路線に期待が集まる中で金利は安定して推移しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

第12期首より、中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落、また原油価格の下落によりリスク回避姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。しかし2016年3月になると、原油価格が底打ちし株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、汚職捜査が政権中枢へ近づくに連れて政権交代期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがレアルの上昇要因になりました。また暫定政権発足後は、政局の混乱からの脱却と経済改革に期待が集まったことがレアルの上昇要因となったほか、英国のEU（欧州連合）離脱の国民投票や米国の雇用統計等の結果を受けて、世界経済の下支えのため各国の金融緩和姿勢が印象づけられたことが新興国・資源国通貨の上昇要因となりました。

○為替ボラティリティ相場

当期間中は、2016年1月から2月にかけての中国経済の不透明感と世界的な株式市況の急落した局面や、4月の日銀の金融政策の効果に対して懐疑的な見方が高まった局面、また6月の英国のEU離脱の国民投票による局面など、リスク回避姿勢が強まった時にインプライド・ボラティリティ（※）が上昇する局面が見られました。しかし当期間を通じて、政権交代期待および暫定政権に対する期待や、各国政府・中央銀行の政策対応への期待などから、20%台で安定して推移しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レート（ボラティリティ（予想変動率））で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ブラジル・ボンド・ファンド（ α 100クラス）

債券ポートフォリオは、名目債と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

通貨カバードコール戦略（ブラジル・リアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

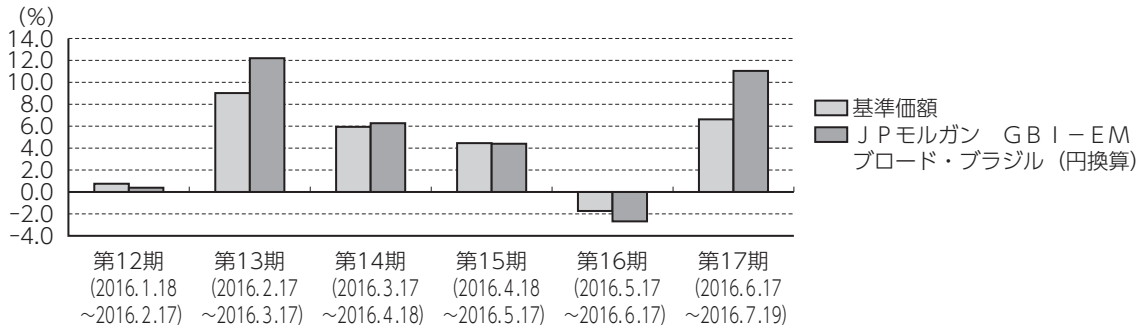
○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第12期～第17期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ120円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
	2016年1月19日 ～2016年2月17日	2016年2月18日 ～2016年3月17日	2016年3月18日 ～2016年4月18日	2016年4月19日 ～2016年5月17日	2016年5月18日 ～2016年6月17日	2016年6月18日 ～2016年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	120	120	120	120	120	120
対基準価額比率（％）	1.95	1.82	1.75	1.71	1.77	1.69
当期の収益（円）	120	120	120	120	120	120
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,494	1,721	1,999	2,300	2,533	2,868

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	330.71円	347.27円	396.99円	419.49円	349.87円	448.09円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	349.16	359.06	383.45	400.12	504.53	636.48
(d) 分配準備積立金	934.45	1,135.41	1,339.46	1,600.63	1,798.96	1,904.27
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,614.32	1,841.76	2,119.90	2,420.25	2,653.37	2,988.85
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,494.32	1,721.76	1,999.90	2,300.25	2,533.37	2,868.85

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第12期～第17期		項 目 の 概 要
	(2016.1.19～2016.7.19)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0.608%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,668円です。
（投信会社）	(14)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0.379)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0.087	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
（投資信託受益証券）	(6)	(0.087)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	47	0.698	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

決 算 期	第 12 期 ～ 第 17 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	6,406.935	295,176	6,113.197	281,735

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

第 12 期				～	第 17 期			
買		付			売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	1,303.695	60,700	46		DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	6,113.197	281,735	46

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第12期～第17期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第12期～第17期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

決 算 期		第 12 期			～	第 17 期		
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C		
公社債	百万円 18,410	百万円 3,140	% 17.1	百万円 －	百万円 －	% －		
コール・ローン	550,510	－	－	－	－	－		

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビ－ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	第 17 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	13,072.319	573,691	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月19日現在

項 目	第 17 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 573,691	% 94.7
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	50	0.0
コール・ローン等、その他	31,883	5.3
投資信託財産総額	605,625	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 17 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千□ 49	千□ 49	千円 50

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年2月17日)、(2016年3月17日)、(2016年4月18日)、(2016年5月17日)、(2016年6月17日)、(2016年7月19日)現在

項 目	第 12 期 末	第 13 期 末	第 14 期 末	第 15 期 末	第 16 期 末	第 17 期 末
(A) 資産	655,621,261円	685,870,146円	731,203,828円	713,420,232円	629,821,655円	605,625,430円
コール・ローン等	3,427,225	16,131,881	5,131,328	31,775,408	15,858,483	31,883,629
投資信託受益証券(評価額)	621,605,221	669,688,255	703,667,290	681,594,819	613,913,167	573,691,801
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	50,015	50,010	50,010	50,005	50,005	50,000
未収入金	30,538,800	—	22,355,200	—	—	—
(B) 負債	30,983,666	13,125,529	24,532,584	28,676,990	12,479,513	20,737,087
未払金	15,269,400	—	11,177,600	—	—	—
未払収益分配金	12,401,260	12,479,722	12,594,771	11,886,135	11,101,213	10,034,165
未払解約金	2,659,753	2,008	2,046	16,089,014	688,785	10,004,911
未払信託報酬	648,941	635,266	744,682	683,744	667,052	671,088
その他未払費用	4,312	8,533	13,485	18,097	22,463	26,923
(C) 純資産総額(A－B)	624,637,595	672,744,617	706,671,244	684,743,242	617,342,142	584,888,343
元本	1,033,438,348	1,039,976,907	1,049,564,291	990,511,330	925,101,166	836,180,425
次期繰越損益金	△ 408,800,753	△ 367,232,290	△ 342,893,047	△305,768,088	△307,759,024	△251,292,082
(D) 受益権総口数	1,033,438,348□	1,039,976,907□	1,049,564,291□	990,511,330□	925,101,166□	836,180,425□
1万口当り基準価額(C/D)	6,044円	6,469円	6,733円	6,913円	6,673円	6,995円

* 第11期末における元本額は1,034,490,595円、当作成期間（第12期～第17期）中における追加設定元本額は155,447,801円、同解約元本額は353,757,971円です。
* 第17期末の計算口数当りの純資産額は6,995円です。
* 第17期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は251,292,082円です。

■損益の状況

第12期 自2016年1月19日 至2016年2月17日 第15期 自2016年4月19日 至2016年5月17日
第13期 自2016年2月18日 至2016年3月17日 第16期 自2016年5月18日 至2016年6月17日
第14期 自2016年3月18日 至2016年4月18日 第17期 自2016年6月18日 至2016年7月19日

項 目	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期
(A) 配当等収益	34,830,279円	36,524,200円	42,416,590円	42,240,064円	33,038,884円	38,144,317円
受取配当金	34,830,124	36,524,197	42,416,590	42,240,248	33,039,358	38,144,943
受取利息	155	3	－	2	11	2
支払利息	－	－	－	△ 186	△ 485	△ 628
(B) 有価証券売買損益	△ 29,379,516	20,722,911	△ 1,560,558	△ 11,898,332	△ 43,259,357	△ 1,533,266
売買益	137,956	20,732,494	186,397	881,237	567,957	2,299,556
売買損	△ 29,517,472	△ 9,583	△ 1,746,955	△ 12,779,569	△ 43,827,314	△ 3,832,822
(C) 信託報酬等	△ 653,253	△ 639,487	△ 749,634	△ 688,356	△ 671,482	△ 675,548
(D) 当期損益(A+B+C)	4,797,510	56,607,624	40,106,398	29,653,376	△ 10,891,955	35,935,503
(E) 前期繰越損益金	△258,594,006	△265,602,572	△219,704,740	△179,604,109	△143,102,453	△140,064,253
(F) 追加信託差損益金	△142,602,997	△145,757,620	△150,699,934	△143,931,220	△142,663,403	△137,129,167
(配当等相当額)	(36,083,672)	(37,341,633)	(40,246,024)	(39,632,949)	(46,674,556)	(53,221,279)
(売買損益相当額)	(△178,686,669)	(△183,099,253)	(△190,945,958)	(△183,564,169)	(△189,337,959)	(△190,350,446)
(G) 合計(D + E + F)	△396,399,493	△354,752,568	△330,298,276	△293,881,953	△296,657,811	△241,257,917
(H) 収益分配金	△ 12,401,260	△ 12,479,722	△ 12,594,771	△ 11,886,135	△ 11,101,213	△ 10,034,165
次期繰越損益金(G+H)	△408,800,753	△367,232,290	△342,893,047	△305,768,088	△307,759,024	△251,292,082
追加信託差損益金	△142,602,997	△145,757,620	△150,699,934	△143,931,220	△142,663,403	△137,129,167
(配当等相当額)	(36,083,672)	(37,341,633)	(40,246,024)	(39,632,949)	(46,674,556)	(53,221,279)
(売買損益相当額)	(△178,686,669)	(△183,099,253)	(△190,945,958)	(△183,564,169)	(△189,337,959)	(△190,350,446)
分配準備積立金	118,345,619	141,717,503	169,657,140	188,209,858	187,688,665	186,666,404
繰越損益金	△384,543,375	△363,192,173	△361,850,253	△350,046,726	△352,784,286	△300,829,319

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期
(a) 経費控除後の配当等収益	34,177,026円	36,116,207円	41,666,956円	41,551,708円	32,367,402円	37,468,769円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	36,083,672	37,341,633	40,246,024	39,632,949	46,674,556	53,221,279
(d) 分配準備積立金	96,569,853	118,081,018	140,584,955	158,544,285	166,422,476	159,231,800
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	166,830,551	191,538,858	222,497,935	239,728,942	245,464,434	249,921,848
(f) 分配金	12,401,260	12,479,722	12,594,771	11,886,135	11,101,213	10,034,165
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	154,429,291	179,059,136	209,903,164	227,842,807	234,363,221	239,887,683
(h) 受益権総口数	1,033,438,348口	1,039,976,907口	1,049,564,291口	990,511,330口	925,101,166口	836,180,425口

収 益	分 配 金 の お 知 ら せ					
	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期
1 万 口 当 り 分 配 金	120円	120円	120円	120円	120円	120円
(単 価)	(6,044円)	(6,469円)	(6,733円)	(6,913円)	(6,673円)	(6,995円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド
α50クラス／α100クラス

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（α50クラス／α100クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年7月19日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書
2015年5月31日

	ドル
資産	
損益通算公正価値金融資産	8,211,937
現金および現金同等物	170,989
未収：	
売却投資証券	25,815
利息	10,919
総資産	8,419,660
負債	
損益通算公正価値金融負債	41,886
未払：	
購入投資証券	108,834
管理会社報酬	15,606
保管報酬	5,936
報酬代理店報酬	3,437
受託会社報酬	3,425
名義書き換え代理報酬	1,937
副投資運用会社報酬	1,423
負債（買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産を除く）	182,484
買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産	ドル 8,237,176

包括利益計算書

2015年5月31日に終了した年度

	ドル
収益	
利息	161,966
損益通算公正価値金融資産および負債による純実現損失	(107,958)
外貨取引による純実現損失	(6,095)
損益通算公正価値金融資産および負債による評価損の純変動	(549,422)
外国為替換算による評価損の純変動	(384)
損失合計	(501,893)
費用	
管理会社報酬	15,606
保管報酬	5,936
副投資運用会社報酬	4,680
報酬代理店報酬	4,009
受託会社報酬	3,425
名義書き換え代理報酬	1,937
費用合計	35,593
金融費用控除前営業損失	(537,486)
金融費用	
買戻償還可能受益証券保有者に対する分配金	(504,060)
分配金控除後税引前損失	(1,041,546)
源泉徴収税	(3,100)
業務活動の結果生じた買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産の減少額	ドル (1,044,646)

投資明細
2015年5月29日

ドル

ブラジル

NOTA DO TESOU 6% 05/15/45/BRL/	253,223.17
NOTA DO TESOURO 6% 5/15/17/BRL	205,852.99
NOTA DO TESOU 6% 08/15/50/BRL/	301,437.09
LETRA TESOUR ZCP 01/01/16/BRL/	2,783,600.08
NOTA DO TESOU 6% 08/15/16/BRL/	2,161,998.62
LETRA TESOUR ZCP 07/01/16/BRL/	1,361,706.76
LETRA TESOUR ZCP 07/01/15/BRL/	92,928.40
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/	924,447.79
NOTA DO TESOU 6% 05/15/55/BRL/	126,741.87
	8,211,936.77

仕組みスワップ契約
α100クラス - 2015年5月31日時点の仕組スワップ契約の残高：（純資産の（0.4）％）

変動金利	支払/受取	変動金利の指標	固定金利	権利行使日	カウンターパーティ	名目元本	評価損
	支払	FX Option Overlay	0.00%	2025年12月5日	Credit Suisse International	ドル 5,920,483	ドル (34,549)

α50クラス - 2015年5月31日時点の仕組スワップ契約の残高：（純資産の（0.1）％）

変動金利	支払/受取	変動金利の指標	固定金利	権利行使日	カウンターパーティ	名目元本	評価損
	支払	FX Option Overlay	0.00%	2025年12月5日	Credit Suisse International	ドル 2,514,678	ドル (7,337)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第17期の決算日（2016年7月19日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591 国庫短期証券	2016/5/30	4,500,177			
601 国庫短期証券	2016/7/19	3,150,065			
586 国庫短期証券	2016/5/12	2,000,342			
596 国庫短期証券	2016/6/20	1,780,031			
545 国庫短期証券	2016/7/20	1,470,000			
97 5年国債 0.4%	2016/6/20	1,240,071			
588 国庫短期証券	2016/5/16	1,000,010			
98 5年国債 0.3%	2016/6/20	860,071			
280 10年国債 1.9%	2016/6/20	790,102			
584 国庫短期証券	2016/4/25	500,056			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年7月19日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（10,386,492千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年7月19日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 2,590,000	千円 2,591,057	% 24.9	% －	% －	% －	% 24.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年7月19日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	545 国庫短期証券	% －	千円 1,470,000	千円 1,470,000	2016/07/20	
	607 国庫短期証券	－	20,000	20,001	2016/08/15	
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,101,056	2016/09/20	
合 計	銘 柄 数 金 額	3銘柄				
			2,590,000	2,591,057		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2015年12月9日）

（計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
運 用 方 法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

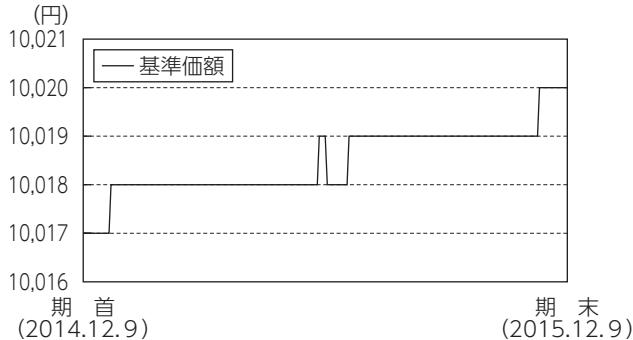
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額	公 社 債 率	
		騰 落 率	組 入 比 率
(期首)2014年12月9日	円 10,017	% -	% 53.3
12月末	10,018	0.0	72.3
2015年1月末	10,018	0.0	80.5
2月末	10,018	0.0	70.3
3月末	10,018	0.0	59.6
4月末	10,018	0.0	70.6
5月末	10,018	0.0	73.2
6月末	10,019	0.0	69.3
7月末	10,019	0.0	59.4
8月末	10,019	0.0	65.5
9月末	10,019	0.0	51.5
10月末	10,019	0.0	76.0
11月末	10,020	0.0	56.8
(期末)2015年12月9日	10,020	0.0	52.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,020円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっておりま

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっておりま

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合 計	－

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		32,338,160	－ (32,240,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
491	国庫短期証券 2015/5/14	1,999,998	
540	国庫短期証券 2015/9/24	1,699,999	
555	国庫短期証券 2015/12/7	1,500,000	
557	国庫短期証券 2015/12/14	1,500,000	
541	国庫短期証券 2015/9/28	1,499,998	
532	国庫短期証券 2015/8/17	1,499,995	
514	国庫短期証券 2015/5/25	1,499,968	
521	国庫短期証券 2015/6/29	1,499,925	
502	国庫短期証券 2015/3/30	1,199,993	
563	国庫短期証券 2016/1/18	1,150,000	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB格以下組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%	5年以上 2年以上 2年末満
国債証券	6,435,000	6,437,978	52.7	—	— — — 52.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期 末			
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	557 国庫短期証券	%	千円 1,500,000	千円 1,500,000	2015/12/14
	336 2年国債	0.1000	185,000	185,022	2016/01/15
	563 国庫短期証券	—	1,150,000	1,150,000	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	500,000	500,097	2016/03/07
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,860	2016/09/20
合計	銘柄数 金 額	7銘柄	6,435,000	6,437,978	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,437,978	% 52.7
コール・ローン等、その他	5,772,311	47.3
投資信託財産総額	12,210,290	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,210,290,310円
コール・ローン等	5,771,514,330
公社債(評価額)	6,437,978,324
未収利息	668,726
前払費用	128,930
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	12,210,290,310
元本	12,186,116,869
次期繰越損益金	24,173,441
(D) 受益権総口数	12,186,116,869口
1万口当り基準価額(C／D)	10,020円

* 期首における元本額は11,884,993,463円、当期中における追加設定元本額は8,064,725,261円、同解約元本額は7,763,601,855円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイ

ワ・グローバル高利回りC B ファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りC B ファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ26,536,157円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－2,395,687,762円、ダイワ日本株式ベア・ファンド－ベアシフト11－71,870,634円、ダイワ日本株式ベア・ファンド－ベアシフト11 Ver 2－29,945,799円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース10,980,236円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,696,946円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース7,487,022円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,593,631円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）29,988,005円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,999,201円、通貨選択型 ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,002,195円、通貨選択型 ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド通貨セレクトコース（毎月分配型）3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス ーインカムチェンジ（横立型）－7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－2,626,169,333円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,020円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,173,485円
受取利息	3,173,485
(B) 有価証券売買損益	△ 382,400
売買益	1,050
売買損	△ 383,450
(C) 当期損益金(A＋B)	2,791,085
(D) 前期繰越損益金	20,640,762
(E) 解約差損益金	△ 14,198,145
(F) 追加信託差損益金	14,939,739
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	24,173,441
次期繰越損益金(G)	24,173,441

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。